2010 年 1 月 5 日

悲しみを乗り越え再挑戦する夫婦を描く　ご当地ドキュメンタリー作品

「梅むら夫婦」 2／6（土）～12（金）特別上映のお知らせ

ワーナー・マイカル・シネマズ 羽生

㈱ワーナー・マイカル

ワーナー・マイカル・シネマズ 羽生は、鴻巣市の JR 高崎線吹上駅前で 40 年以上、和菓子とうどんの店「梅むら」を経営していた森田充彦さんと桂子さん夫婦の姿を追ったドキュメンタリー「梅むら夫婦」を 2 月 6 日（土）～12 日（金）まで、特別上映します。行田市出身の女性映像作家、茂木（もてぎ）薫さんが監督を務め、故郷を舞台にカメラを回したご当地作品。ワーナー・マイカル・シネマズ 羽生限定で公開いたします。

茂木薫さんは、地元、行田市に焦点を絞った制作活動をしている映像作家で、地域の文化を映像で表現・発信する活動を精力的に行っています。2008 年 6 月に同級生のラーメン店を手伝っていた森田さん夫婦と出会います。森田さん夫婦の娘の春美さんは 2007 年 9 月、交通事故で 39 歳の若さで他界。夫婦は一人娘を失った悲しみとショックから、直後に店をたたんでいました。しかしその悲しみを乗り越えて「もう一度店を開店して、おいしいフライを作りたい。お世話になった皆さんに恩返しがしたい」と決心した夫婦の姿を見て、カメラに収めることを決心します。今年2月新店舗を開店するまで、約 1 年間 2 人を追い続け、約 9,000 分に及んだ映像を約 50 分にまとめました。懸命に生きようとする夫婦の姿を通し、身近な人の大切さや日々をいかに生きるかという人間の営みを追った、心あたたまるドキュメンタリー作品となっています。

この夏に実施された公民館での上映会で、当社劇場、羽生の総支配人、伊藤が茂木監督とお会いしたことをきっかけに、「この作品をもっとたくさんの人に観てもらいたい」という思いから、今回の上映が決定しました。初日の 2 月 6 日（土）には監督の舞台挨拶も予定しています。ぜひこの機会にご鑑賞ください。

記

【上映作品】　「梅むら夫婦」（DVD 上映　55 分）

【上映期間】　2010 年 2 月 6 日（土）～12 日（金）
※初日 2 月 6 日に茂木薫監督の舞台挨拶を予定

【鑑賞料金】　一般・大高生　1,000 円　　中学生以下　800 円